

「口でも胸でもお尻でも……全部あげる」

-まいんたいあり えくすとら-

妹NN日記EX

妹視点SSつき
あまラブエッチCG集

byかじむらマーケット



・名前： 沙嬉（さき）
156cm/46kg - 89/62/90 - JK
7つ上の兄超うブ

※本作品は膣以外でのプレイが多めとなっております。



パイズリ、フェラ、アナルバイブ、アナルファック...でもやっぱり最後は...



**イベントCG形式・コミック形式の
複合形式で構成されております。**

**基本15枚(コミック・カットイン形式等)
+差分 計178枚**

テキスト有/無 等合計337枚

画像サイズ: 1600x1200pixel

-まいんたいあり えくすとら-

妹NNN日記EX


-沙嬉編-

4月29日

お兄ちゃんとの初めてのエッチ翌日。
昼間はお買い物に出かけたりして
デートしてるみたいに過ごした後、
帰って夜は二度目のエッチ。

でも昨日とは違って、
お兄ちゃんが買ってきた
コンドームを使ってるの。





はじめてはナマがいいって言ったから
勢いでしちゃったけど、
やっぱりちゃんと避妊しないと
ダメだよな、って話になって…
私も「…そうだね」って了承した。

私は…ナマですからには
デキちゃってもいい覚悟で
したんだけどな…



「沙嬉…痛くないか？」

「ん…平気…♡」

初めての痛みに比べたら
昨日より全然大丈夫…なんだけど…

はあっ

ほっ♡



「…んっ、激っくっんんんっ…っ」

「ぐっ…っぐ」

昨日より長く、激しく突かれる。
合間にいっぱいキスされるのが
気持ちいいけど…
なんか…異物感がすごい…

はっ…っ
はっ…っ

たはっ
はっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ



「……うわ」

うわ


うわ

うわ



射精の余韻に浸りながらただ
首筋、耳、ほっぺた、おでこに
キスしてくれるの、
ちよつと嬉しいな。
えへへ...

お兄ちゃんがいったみたい。



「あ、ゴムしてるから
すぐ抜かなきゃダメか」

「そだね」

もうちよつと妹のナカに
いたかったな、って顔して
お兄ちゃんが離れる。



あーん... ス... ちんぽ... ちんぽ... ちんぽ...

とろろ... ちんぽ...

ま... ちんぽ...

...ま...

ぬ... ちんぽ...

ちんぽ...

「せーえぎ、飲んれみうかったろ」

生温かくてねばねばしてる。
妹のおまんこで気持ちよくなって
これだけ出たんだ…♡





甘いような苦いような…
生臭くて、興奮する
お兄ちゃんの味…

口の中はべっぴんくっくっくっ
ちよつと飲みにくいかも…

「と……と……」

喉にもからみついているのがわかる。
お兄ちゃんの精液が……私の喉に……
昨日はこれをおまんこに注がれたんだ……

あ……想像したらちよつと
おまんこキュンってなったかも



「へへへ…お兄ちゃんの味だね…♡」

「……………」

照れたような、
困ったような顔してる。
でも…多分興奮してる顔。





oooooooooooo

お兄ちゃん...
もしかして
ゴムしやない持たせよへ
なかった？





あ
それじゃあ…





「.....」

唾液をいっぱい垂らして
おっぱいでおちんちんを挟む。
あ、すごい。お兄ちゃんのお
ちんちんがすごく近い...

ムニャ♡

ムニャ♡

ムニャ♡



「砂糖…もじちゅりゅ
おじゅんかか…っ」

「ぐんぐん」

「ぷんぷん」

「じゅんじゅん」

「んっ」

結構寄せてるんだけどな…
ふわふわして掴みにくいかも。



「……おっぱい……」

「……&」

たばばっ

っ

っ

お兄ちゃんの唾液が混ざる。
おっぱいの力でぐちゅぐちゅして
めるめるして……あれ……
ちよつと気持ちいいかも♡



「...ん...ん」

上から垂れてくる
お兄ちゃんの唾と
私が補充する唾が、
おっぱいの中で混ぜり合う。

二人分の唾液が
おちんちんにからみついて...
おっぱいにも塗りたくられて...
これ、結構やらしいかも...



「砂糖…り…
」のまき…射精して
いしか…っっ」

「アッ…アッ…アッ…アッ…
お兄ちゃんが好きだよ！んんん…
射精して…っ」

おまんこの中で起こった射精が
すぐ目の前で…
あ、目を閉じなきゃだめかな？



あじ...あじご...
おっぱいの中央
おっぱいもへっぴり...

それに...
さっき射精したのに
またこんな...

「ん...NIEE ...うん」

「はあ… はあ…」

「気持ちよかった…っ」

「ああ…沙嬉のおっぱい、
良かったよ」

ん…

まだちよつと物足りなそう。
やっぱしナマのおまんこじゃなきや
お兄ちゃんが満足出来ないかな…？

あ…そうだ…！

4月30日

「おしりとか……
興味、ある……？」

お兄ちゃんに
軽く聞いてみたら
すぐを買ってきたコシ……
いきなりおちんちん入れずに
まずはほぐすみたい。

ぐちゅ……

ヒッ

ドキ

ドキ





「沙嬉…力抜いて…」

腔と違って、
出す方の穴だから
なかなか難しいかも…

「んち…ぶん…」

んんんんんん

グッ…

ぐちゃ
ぐちゃ

にゅる

にゅる…



「ぷっ…
ひゅっ…」

「これで苦しいなら
まだ俺のじゃ
無理だな…」

そう…だね…
結構苦しい。



「んっっ！」

んっんっんっ

んっ

「動かすぞ」

抜いては挿れて
抜けそうになるほど
引っ張っては戻して…
おしりがお兄ちゃんのおもちゃになってる。

んっ…
んっんっ

んっんっんっ
んっんっんっ

「妹のおしり
開発するのって
どんな気分？」

「すっげー嬉しい」

「……………」

…お兄ちゃん、
変態だよお…






「沙嬉がうしろも
捧げてくれるんだからな。
前も貰ったばかりなのに、
もううしろも したいなんて…
沙嬉って実は結構変態？」

「い…妹のおじい
イジってめめおぢちゃん」
「言われたくないい…」

捧げる…だなんて。
まあ…
そうなんだけどね…」



結局一日中おしりをイジられてた。
飽きもせずお兄ちゃんは私のおしりを
ぐちゅぐちゅとほぐしてる。

休憩していちゃいちゃしたり
おまんこなめられたりしたけど
おしりはいじられっぱなし。

閉じなくなったらどうしよう……



かほほほ...

「まだすぐ閉じちゃうな...」

「開きっぱなしの方が困るよ...」

いっぱい舐められて
ふやけていても
まだ...ちゃんと締まる

んっ

んっ

んっ



「お尻がさだ〜と〜と〜と
「おカミ」のままなの〜」

「沙嬉のいやらしい尻
見飽きないなって」

そんなにじっくり見られたら…
さすがにちよつと恥ずかしい…

む…

んん

んん



「あっ
あっ
あっ
そ…れえ！」

じゅっ
じゅっ…

にゅっ
にゅっ

お兄ちゃんがまたバイブを使い始める。
肛門がこすれて…あ、いや…やだ…



「なんだ... きゃあうう...」

やつ...だめ...
力抜けちゃう...

じゅわぽっ

じゅわ

きゅわん
きゅわん
きゅわん

きゅわん...



「あっ…待…っ…」

「ふっ」

やっ…漏れちゃう…
おしっこ…出ちゃううう

んんんん

んん

んん

んん



「アッ……」

「漏れそうだったか……」

「はぁ……はぁ……」
「……ふっ……へっ……」

んんんん

んんん

んんん


「……お兄ちゃん
今なに考えてるの……」

「え……なにをいってんだ沙穂」

お兄ちゃんが喉を鳴らしたの、
見逃してないんだよ？

……し……





「…スカトロ趣味は
なかったけど…
沙塘のおしっこ」なら…」

「もうっ！ やっばり
飲む気だったんだ…」

おしっこ飲むなんて…
さすがにちよつと早すぎない…？

「…イヤだったか」

「…やっ…やっ…やっ…
心の…準備が…
まだだったから…」

そういうの、
聞いた頃はあるけど…
聞いたことは…あるから…

「心の準備が…順番が
逆になっちゃったけど…
お兄ちゃんになら…
ぜんぶ、あげたいから…」

「したいけど…あんなら
なんでも言ってる…」

「…沙織…」





「沙壇も、
してほしい
ことがあったら
言っただぞ」

「…ん」

じゅわっ
ふにふに
んんん
んんん

そう言うと、
またおしりをほぐすのを
再開する。



「じゃあ...
法律婚したいな〜」

「無理」

「びー、ぽんぽんのびー、びー」

そんな会話をしながら...
中つくり私のおしりをほぐしていった。

ズッ

ズッ

ズッ
ズッ
ズッ...



5月1日

「んっ……」

今日もじっくりほぐしてたけど……
やっぱりちよっと……ううん、
結構苦しい



「い… た…」

おしり、切れてないと
いいんだけど…
それより息が…つらい。



「んっ… ぽっ… んんっ」

「んっっ、沙嬉… 抜くか？」

「……………」
「……………」

首を振る。
もうちょっと、がまん。

「…まずは入り口あたりでやめと」

「ふっ…んんっ」

お兄ちゃんが小さく動く。
出ていく時ちよっとだけ楽になって
また挿ってくる時苦しくなって…



お兄ちゃんの動きが止まる。
あ…射精してるのかな…
よかった、お兄ちゃん、
ちゃんとイケたんだ…

「んっ」

びゅっ

びゅっ

びゅっ



「まだちょっと早かったかな」

「はぁ...」

「はぁ...」

「はぁ...」

「はぁ...」

「はぁ...」

「はぁ...」

「でも…ありがとな沙嬢。
沙嬢のおしりのはじめて、くれて」

「あは……私こそ……
お兄ちゃんに
おしり捧げられた
嬉しう……」

その日は、
それだけでおしまい。
一緒にお風呂入って、
一緒に寝る。



5月2日

制服とカバンは
持ってきてたから
お兄ちゃんの部屋から登校。

行ってきますーす

…サボっちゃっても
いいんだけどな。
どうせ…
ふふ、まだ未定だもんね。

…おしり、まだちよつとむずむずしてる…
ロストバージンした翌日のおまんこよりは
平気だけど…ヘンな感じ

キニツ♡
♡♡♡

もぞもぞ



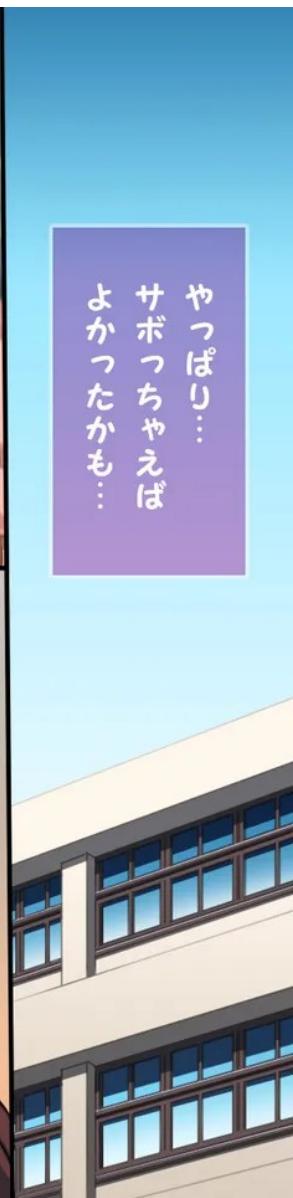
やっぱし…
サボっちゃえば
よかったかも…



へんだよあ…

私…

お兄ちゃん…





お兄ちゃんの顔ばかり
浮かんじやった

今日一日ずっと
おしりがむずむずして…

ムズムズ

ムズムズ

ふに…



「はぁ... はぁ...」

お兄ちゃんのベビード...
お兄ちゃんのおいが
しみついたシーツ...

はぁ... はぁ...

スリッパ

スリッパ

はぁ... はぁ...

はぁ... はぁ...

…お兄ちゃん
オナニーするの…
久しぶりかな…

実家に帰ってきた時に
こっそりしてたから…
5ヶ月ぶりくらい…?





あのときは想像だったけど…
今はちゃんと思い出せる…

お兄ちゃんの感触…
におい…味…
エッチの時の声…

…おちんちんの形…

くちゅっ
くちゅっ

じゅわっ…



「お尻が痒い...」
早く帰ってあげよう...」

んんん

んんん

んんん

んんん



お兄ちゃんに……
いじられたいよお……

おまんこも……
おしりも……

シたくてシたくて
たまらない……

はぁっ

はぁっ

はぁっ

にちっ

くちっ

にちっ

くちっ

「…今日もおしり…
ほくしてもらえるかな…」

お兄ちゃんのおちんちん…
欲しいよお……

あ…またお尻が
むずむずしてきた…





指に唾をつけて
おしりもいじる。

「ひゃあっ—」

くたっ
くたっ
にちやっ
あぶ

まだちょっと敏感で
びっくりしたけど
でも……



「あはは……」

入り口を指でめりゅめりゅほぐすように
軽めにいじると… 気持ちいい…



「あぁ... あぁ...」

膣口と肛門を同時にいじる。

気持ちいい...
でも...

くっくっ
くっくっ
あぁ
クキクキ
にちやっ...



「お兄ちゃん早く帰ってきて…お兄ちゃん早く帰ってきて…」

ぎゅんぎゅん

はぁ…

ぎゅんぎゅん

はぁ…

くっくっくっ
くっくっくっ
にちや…

じゅっ

ククニョ

しゅわん

ククニョ

早く帰ってきてきて…お兄ちゃん。今日もいっぱいエッチしよ…♡







「はあはあ……」

はあ...

はあ...

くっくっくっ
にちや...

にちや...
クチャクチャ

「おっぱい……
はやく……っ
いれよ……」

「……どうしたんだ」

「今回一日学校で……
ずっとおしりがむずむずして……
お兄ちゃんとエッチする……としか
考えられなかったの……」






あふりあふり...

「じゃあ...さっさと」

「あふり...」

昨日より、
幾分入りやすかったけど
まだちよつと苦しいかも。



「一度挿れたからかな…
昨日よりはほぐれてる」

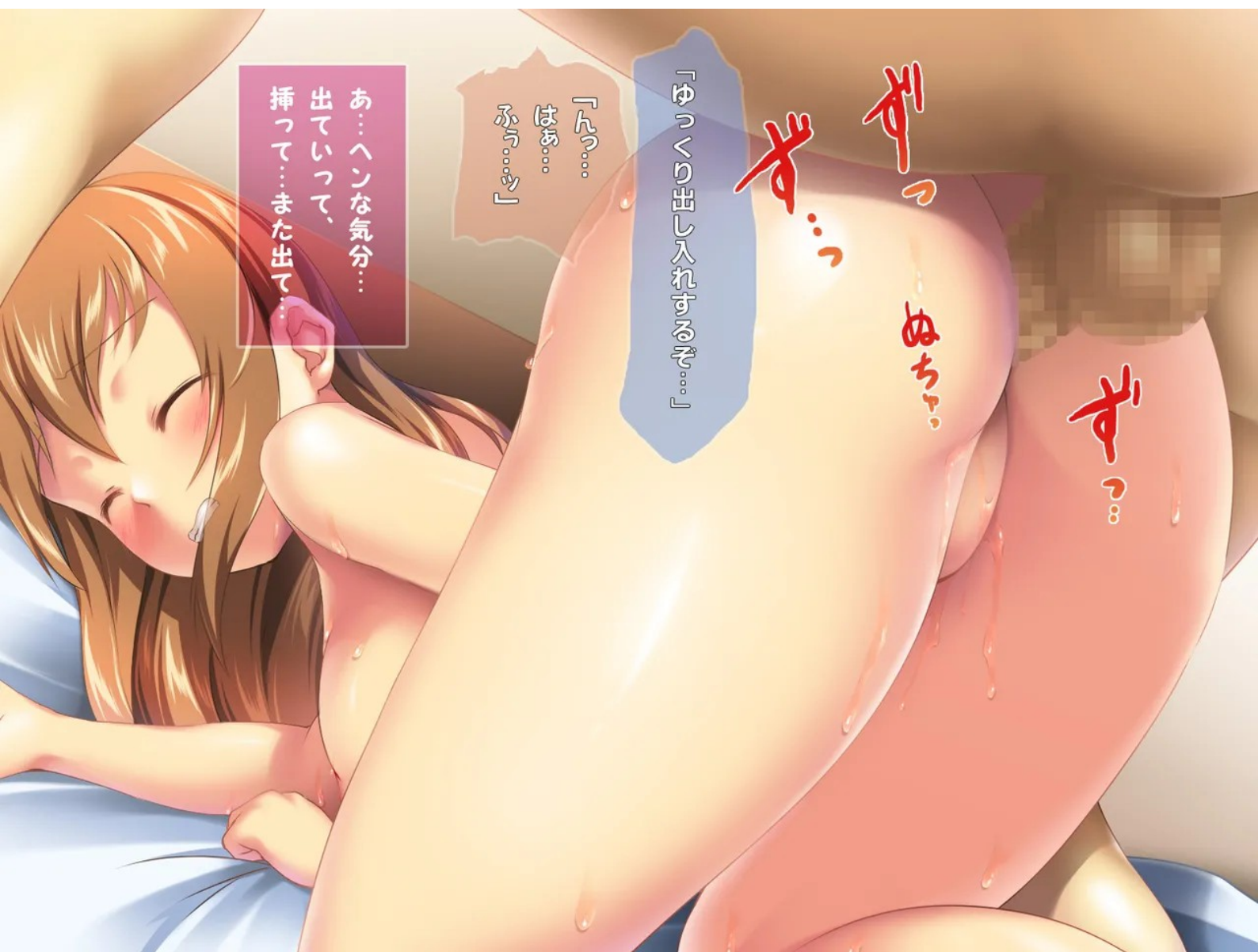
「え…」

お兄ちゃんも、
同じこと思ったみたい。
私のおしり…順調に
お兄ちゃんのものになってる…♡

「昨日より
もうちょっと奥まで
挿れるからな…」

「ふっ…… んんんんん」

ゆっくり、おしりの中を
お兄ちゃんが侵入してくる。
お兄ちゃんに、犯されてるみたい……
いいよ……妹のおしり、犯して……♡



「ぷっくり出し入れすぞぞ…」

「とっ…」

「はぁ…」

「ふっ…」

あ…ヘンな気分…
出て行って、
挿って…また出て…

あ…
ぬちゅ…

あ…



私のおしり… 拵がっちやう…
お兄ちゃんのおちんちんサイズになっちやう…
お兄ちゃんのモノに… なっちやう… ♡

「んっ…んっっ…」

「沙嬉…っ… 沙嬉っ…」

ずっ…
ぬちっ…

ずっ…



「……………」

「……………」

どろどろ

どろどろ

どろどろ

昨日より奥で射精してる。
びくびくしてるおちんちんが
おしりの中で感じられて…



「あはっ…♡」

お兄ちゃんとおしり、
犯さわさわさしたま…♡」

「…昨日もしたる」

「…そっただけで…
「したな」で言う余裕
なかったまへ」

どろろ…

まだ苦しいけど…
お兄ちゃんとお話するだけで
ちよっとだけ楽になる感じ。



「…ふう…
ありがとう、沙嬉」

「おん…ふん…ふん…ふん…
おん…ふん…ふん…ふん…」

嬉しい+びん

5月3日

お兄ちゃんも休みの日。
今日は朝からやる気まんまん。

「今回またいっぱいツインようねっ」





「……ん なんてっ
好きなヒトの舐めものに
抵抗あるのっ」

「……ないな」

「沙壇ってフエリン
抵抗ないよなあ……」



ちゅっ

ぐんぐん

れろ

はむ

はむ



「お兄ちゃんだって
アナルに抵抗ないじゃない」

「それこそ
俺のセリフ
なんだけど…」

「私？ 私は…」



ちゅっ

ぐんぐん

れろ



はむ

はむ







「……それは光栄の至り」

「……お兄ちゃんになら
私のせんぶ、あげたいなって
思ってるだけ……だよ……」

兄妹のする会話じゃない
気がするけどね……



ちゅっ

じゅわん

れろ



はむ

はむ



「…重いつて思った？」

「いや…想定範囲…」

「違うな…妄想範囲？」

妄想…してくれるんだ…♡



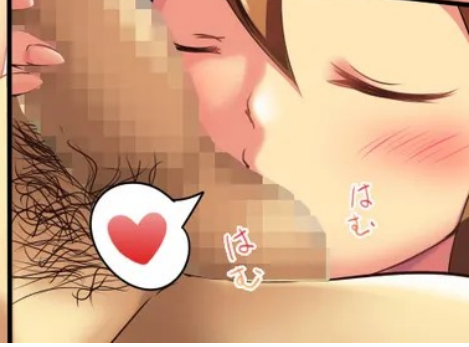
ちゅっ

じゅわん

れ

はむ

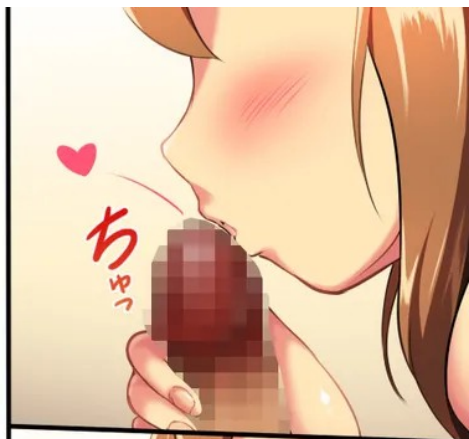
はむ



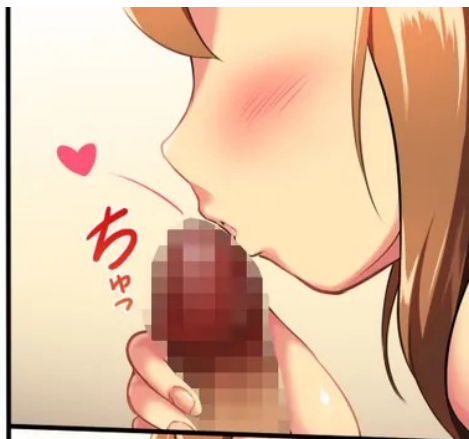














「貞操観念ガチガチの妹がよかった？」

「抵抗がないっていうより…淫乱って言った方がいいな…」

「…えーと」

ちよつと積極的になりすぎて引かれちゃってたらやだな…。



ちゅっ

じゅわん

れろ



はむ

はむ



「.....」

「...沙嬉と両想いになれるんなら淫乱でも貞淑でもいいよ」



ちゅっ

ぐんぐん

れろ



はむ

はむ





「……私がフェラヤアナルに抵抗ないのは……
お兄ちゃんだからね……♡」

「……………」めんなさい。
淫乱な妹で嬉しいです、
ありがとう……お兄ちゃん」



♡
ちゅっ

♡
ぐんぐんぐん

♡
はむ



「うん… 私モ」

「沙嬉…好きだよ」

少しずつ、一緒にいられなかった
時間を埋めていく。
今だけは、ふたりだけの空間…。



ちゅっ

じゅわん

れろ



はむ

はむ



今日もお兄ちゃんとアナルセックス。
休日の昼間からいちやいちゃして
そのまますることに。

「あ…あ…」
「あ…あ…」

アッポ
ぬちゅっ
あ…あ…
アッポ
アッポ



やだ…言っちゃった

「おっこ……
イイ…かもっ」

まだちょっと苦しいけど、それももう
おちんちんが入ってる圧迫感くらいで、

ぬちゅっ
アッポ

ずっちゅ

ギュー

アッポ



昨日よりも激しく出し入れされる。
それもちよつと気持ちよくて……

「あっー！ あっー！
お兄ちゃんっっ！」

「沙嬉っ……
沙嬉っ……」
ぬちゅっ
ギュー
ずっちゅ

アッポ

アッポ

「お兄ちゃん…っ… おしり…」

「イイかも… 良くなってきた…っ」

「今日はちゅっ…っ… 長〜長〜っ…っ…」

「わかった…」

「お兄ちゃんがすぐ
イっちゃわないように
ペース配分してくれる。」

「つながったまま休憩して
背中にいっぱいキスしてくれたり、
おっぱい揉んだりして、
ちゅっくり、じゅっくり…」





「はっ… はっ…
ふっ… ふっ…」

「ふっ…」

不意におしりを締めてみたりする
出来る余裕がでてきたから
お兄ちゃんが奥まで挿れるタイミングで
ちよつと…キュッってしてみた。

キッ



「えく… ぶく…」

「沙嬉っ… それ… いい」

きゅっ、きゅっ、って
リズムよく締めると
お兄ちゃんが喜んでくれる。
あ、でもこれじゃ…



せつかく長くできるように
我慢してくれてなのに
結局私が台無しにしちゃった。

「ははっ、いざとわっ」

「うん……EE う……」

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ



「沙嬉しい…」

「いぬななわんわん
私がお願したのこ」

「気持ちよかったから…
いいけど」

ちよつとおしりに
ハマってきちゃったかな？
んー、それはそれで
なんか…複雑。

5月4日

「んふっ……ん じゅん……」

「はぁっ……沙壇……ッ」

お兄ちゃんのおちんちん……
やっぱり大きい……。

平均とかわからないし
他の人のは見たことないから
あくまで私にとっては、だけど……

ぐほっ
ぐほっ



喉の奥まで
お兄ちゃんに犯されてる…

喘まないように
気をつけながら

お兄ちゃんを奥まで
受け入れる。

ぐほっ
ぐほっ



「ええん… せいじん…」

「沙姫…無理はするなよ…」

「ええん…」

こんな大きいのが…
私のおまんこに…
おしりに入ってたんだ…

ぐほっ
ぐほっ



舌でなめ回す余裕も
ちよつと…ないかな
口の中がお兄ちゃんていつぱい…

くほっ
くほっ

「ん…ん…」





「沙嬉……」

「かほっ…… はあっ……」
「ほっ…… はあっ……」
「へっ…… はあっ……」

あはっ、
あはっ、
あはっ、



「えっほ……！ んっ……だ……
大丈夫………ちよつと喉に
絡まってるだけ……」



「はぁぁぁ…お兄ちゃんのが
精液のいなかっ…」

お兄ちゃんの精液…
すっごい濃いから…
飲むの大変…

1515



酸欠状態でくらくらしてるのか
お兄ちゃんのオスのにおい
くらくらししてるのか…
どっちかわからなくなる…

「…お兄ちゃん…
きまげちゃんを…っ」

「あ…あ…あ…あ…
「あ…あ…あ…あ…あ」

「ん<…」

あまのり

あまのり



息が整うまでしばらくは
お兄ちゃんのおちんちんに
ほおずりしながら
頭をなでなでしてもらってた。

「んん… おちんちん…♡」

お兄ちゃんのおスの部分…
私の…十カに…ほしい…な…

なで

なで

ほ♡

♡おちんちん♡



「あーっ…あーっ…」
「…にっ…あーっ…」

今日もお兄ちゃんと
アナルセックス。
だめ…このままじゃ
おしりが好きになっちゃう…。

あーっ

ずっ

アッ
アッ

んっ

あーっ

アッ
アッ

あーっ

あーっ

あーっ



「沙糖…
お持ちなのかな…」

「うんっ… えへっ…
おしり… ママ… たかま…」

「……っ」

あ、おちんちん
ちよつとカクくなつたかな。



「おまんこ
おしりおしりおしりおしり
おしりおしりおしりおしり……」

「イけいけい……」

「わかんないけど……」

おまんこでまだイけないのに、
おしりで先にイけるように
なっちゃうんだ。



「ごっ っごっ
ごっごっごっごっ」

気持ちいい…
おしり…いいよお…



「…うん…」

「…うん…うん…」

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ



アハハハ

ニャーニャー

「...んんん」

「...んんんんんん」



抜かないで…
もうちょっと…このまま…

「…ぎゅ…ぎゅ…」



「はぁ...はぁ...」



気持ちよかった…
おしり…すっかり
エッチな穴になっちゃった…



「んっ... はぁ...
お兄ちゃん...♡」

でも...おしじで
イっちゃったから
余計に...

おまんこで...
おにいちゃんのおちんちんで
いきたくなつてきちゃった...



「なんだ？」

「ねえ…お兄ちゃん…」

まおちゃん



「私…おっぱい…おまんこ…
お兄ちゃんのおっぱい…
…おまんこ…」
「…」

「ナマド…ぐ…」

「おねがい…」

エイト
エイト



「今度は…おまとい…ごめん」

「私…お兄ちゃんの
赤ちゃんだったろう…
デキちゃったかも……
……」

M.A.T.

5月5日

「…今日で連休も最後だね」

ゴールデンウィークはずっと
お兄ちゃんの部屋で
お互いを求め合うだけで
過ごしていたけど…
それももうおしまい。

ちゅっ♡

ちゅっ



ちゅっ

ちゅっ♡

れろ…



はむ

はむ



「…男の人ってこんなにいっぱい
射精できるんだね」

「…いや…、明らかに多すぎだから…
さすがに正直身体もたるい」

それは私もそうかな…。
だからこうして
休憩みたいな感じで
おちんちんにキスしたり
してるんだけど…

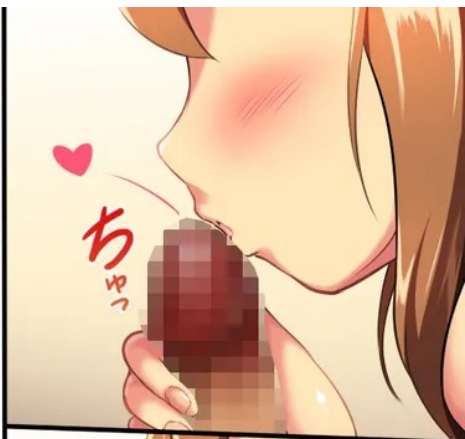


ちゅっ

ぐゅゅゅゅ

はむ

はむ







「この前お兄ちゃん、
私のおしっこ飲みたいてって
言っただけよ」

「あ〜……言ったな」



♡
ちゅっ

ちゅっちゅっ

れろ



はむ

はむ



「…沙嬋、飲みたいか？」

「さ… じりじり
おちんちんしゃぶってねえ
抵抗は…ないかなってくらい」

飲みたいってほどじゃ
ないかなあ。



ちゅっ

じゅじゅ

れろ

はむ

はむ



「飲んで欲しかったら言うてね。
私、飲むよ?」

「……逆に、沙嬉のは
飲ませてくれないのか?」



ちゅっ

ぐんぐん

れろ



はむ

はむ



「……よくわからんヤツだなー……」

「……まだ、だめ」

お兄ちゃん、あきれながら
がっかりしてる……。
え〜…そんなに、飲みたいの…？



♡
ちゅっ

じゅるじゅる

れろ

♡

はむ

はむ



「あ、うんた」

「沙嬢…そのその
出そつだから…」

「じゃあ…あ…ぎよっかっ」



ちゅっ

ぐんぐん

れろ

❤

はむ

はむ



今日はおしりじゃなくて…
おまんこに…
お兄ちゃんのおちんちん
挿れてもらえる…♡

「はぁ… はぁ…♡」

くっくっくっ

くっくっくっ♡

ぐっ
くっくっくっ

「うっ… 妹の素股…」

「ふふ…出しちゃダメだよ？
最初の射精はちゃんとして
一番気持ちいいくらいだよ」
「びゅん…びゅん…」

おちんちんのスジと
おまんこのスジを
こすりあわせると
私の愛液を
お兄ちゃんのおちんちんに
染み込ませてみたいで…
マーキング？

マーキング

マーキング





先っぽをやさしくぐりぐりも追加♪
お兄ちゃんのカウパーが指に絡んで

「妹専用おちんちん♡」

「うっ……！ 沙嬢それはっ……」

おちんちん
おっぱい
お尻



「ふふ…お兄ちゃんも濡れてる…
もう挿れたい？
一週間ぶりの…妹ナマおまんこ♡」

「挿れたい」

「血の繋がった妹の沙嬉の膣に
ナマでナカダシしたい」

「ぐにゅーっ
ちゅんっ

「ぐにゅーっ
ちゅんっ

「ぐにゅーっ
ちゅんっ



「んっ……」

今日はおしりじゃない…
おちんちんを挿れる本来の穴…
お兄ちゃんを受け入れる…妹の膣。



やっぱり……大きい……。
でも……これ……これが欲しかったの……

「あ…… ああ……あ……あ……」

あ……あ……
#2
4
あ……あ……



「お兄ちゃん…やっぱり私…
「っぢゃなきやダメえ…」

「…沙嬉…っ
俺も…だっ」

はぁ…
はぁ…



お兄ちゃん…もしかして
もうイっちゃったの…？

「んっ…」

「…んっ」

お兄ちゃん



「っは…っは…
はぁっ…
うっ…うっ…あぁっ…
うっ…うっ…」

まだ出てる…
ああ…お兄ちゃんの…精子…

びゅん
びゅん
ぽん



「沙嬢に…っ…俺…
妹に膣内射精してる…っ
うっ…」

「お兄ちゃんっ…お兄ちゃんっ…」

どん
どん



「妹のおまんこ…べっぴんっ」

「沙嬢のナカ…気持ちいいっ…っ」

「ああっ…もっ…」

「出したい…もっ…」

「沙嬢のナカに俺の精子…出したい」

「ああああ…」



「うん...
お母さんのおっぱい...」

「お母さんの精子...
せんで私に注ぎ込んで...」



「お兄ちゃんの精子で…
妹の卵子…受精させて♡」

「沙嬉っ…!」

たはっ
たはっ

お互いもう十分に
わかりきったことを
確認するように声に出す。

私たちは兄妹…血縁…

今しているのは…
近親相姦だって…



ナマで近親相姦してる。
お互い妊娠したがつてる、させたがつてる。

いけないことで…
でも、セックスの
本来の目的は子作りで…

背徳感と生殖本能で…
おかしくなっちゃい
そうなくらいに…
気持ちいいの……♡

たはっ
たはっ

たはっ
たはっ

「妊娠したいっ… お兄ちゃんっ…
私… 赤ちゃん産みたいっ…
お兄ちゃんの赤ちゃんが欲しいのっ…!」

「沙嬉っ… 沙嬉っ…」

口にするだけで、
考えてるだけよりも
興奮しちゃう。

でも…
妊娠したいのは…
ほんとだから…ね?

たはっ
たはっ
たはっ



「んぶっ……」
「んはっ……」

ぐっ

ぐっ

ぐっ

ぬちゅっ



「うん……」

んんんんん

んんんんん

んんんんん



「沙嬉…」

じゅっ

ぢゃううっ

ぢゃっ

んっ…

「は…お…お…」

くっ…

3回射精しても、お兄ちゃんのおちんちんはガチガチのまま、私のおまんこから精液が溢れないように栓をしてる。



「……まじ……かた」

ぎゅって抱きしめられたり
なでなでされたり
おっぱいもまれたり
あちこちキスされたり……

交わす言葉も少なく、
ただ交わってる兄妹。

スリ
スリ

んんんっ

んんんっ……



「…沙嬉のも…飲みたい」

「…えっ」

私か上になればいいのかな。
お兄ちゃんに覆い被さられて
どくどく精子注がれるの、
好きなんだけどな…



「ん、わかった」

「……おん、おん、おん」
「そのままがいいな」

わろ
わろ

んんん

そういってお兄ちゃんに密着するように足を絡めて、おまんこに力を入れる。

んんん



「…妹の唾なんて、飲みたいの？」

「飲みたい」

「…わう」

ちよつと、恥ずかしい。
…けど、なんか嬉しい。

ちゅるるっ

ちゅっ



お兄ちゃんが私の唾をすする。
おちんちんがカクくなってる気がする。

「……んんん ……んんん」

ちゅ…

んんん

ちゅ…

グ…

グ…



「ぶあ…」
「…じゅあ」

キスしていると頭がぼーっとする。
舌をしゃぶりつくされたりすると
…ちよつと気持ちよくなっちゃうし。
おまんこも、きゅんってする。

はよっ

はっ
♡



「沙嬉の味… もっと」

「……ん……」

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

口の中に唾をためて、
口移しでお兄ちゃんに飲ませる。
一滴でも多くすすろうとして、
舌を、歯茎を、唇を
しゃぶじくくされて…

ぢゃるっ

ふんっ

すっ

んっ…♡

(はきりんっ…)

ぐっ

ぐっ

妹の唾、おいしい？
もっと…あげるね…



どれくらいお兄ちゃんに
唾液を飲ませていただろう。

すっかり頭がくらくらして
休憩したくなつたところで、
また、おちんちん
じゅぼじゅぼされてる。

お兄ちゃんに
抱きしめられて、
キスされて…

お兄ちゃんのしたいだけ、
されるがまま…

「あ…あ」





「U.....」

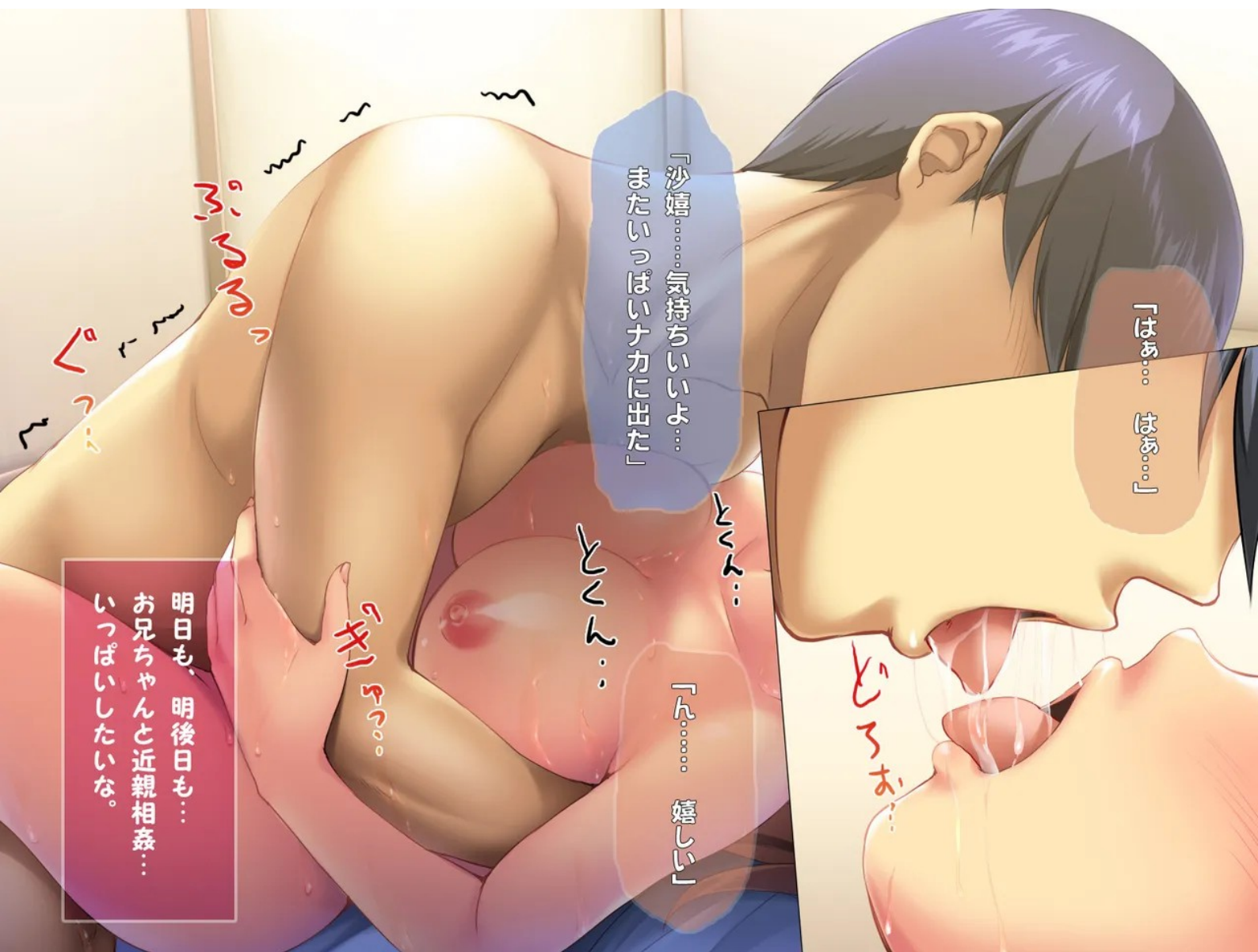
「V.....」

おまんこの中で、
お兄ちゃんのおちんちんが
びくびく震える。

くわんわん...
くわんわん

くわんわん

くわんわん
くわんわん



「はあ... はあ...」

「沙嬢...気持ちいいよ...
またいっぱいナカに出た」

とん...

とん...

「ん... 嬢っ」

どろお...

げんご...

明日も、明後日も...
お兄ちゃんと近親相姦...
いっぱいしたいな。



そしたら…
ずーつとお兄ちゃんと一緒に。
サボる必要もない、
ガッコに行かなくていいんだもん。

法律婚は出来ないけど…
お兄ちゃんのお嫁さん♡




「今射精したばかりだけど…
もう一回……いいか？」

「あはっ、そっけないよ…
聞かないでください」

「……んん♡」

「……んん♡」



コンドームでせき止められない、
妹の膣にダイレクトに注がれる
お兄ちゃんの精子。

お兄ちゃんが私のカラダに夢中になって、
気持ちよさそうにしているのが、嬉しい。

もっと私を求めて…



「♡大好きっっっっっっっっっっ」

「沙嬉…っ 沙嬉…ッ」

「うん……………」

はっ、はっ、

はっ、

っ…

っ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ



「♡♡…アゲアゲ♡…んんん」

「…ん…♡♡」

んんん

んんん

んんん♡♡



「んん…おのたまはあーんじいおはなすの…
おはなすの…ん」

もう何回目の膣内射精だろう。

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ



「…嬉♡」

排卵日…いつかなあ…。
もうそろそろかな…？
ちゃんと計算しなきゃ…。

ホントに…お兄ちゃんの赤ちゃん…
欲しくなってきたな…

ちやー!!
れろ
れろ

ああ…

「…沙嬉…俺も…大好きだぞ」



”デキちゃつたら”じゃなくて……
”子作り”……しちやお？

兄妹で……近親相姦子作り……
したいな……♡

つて言つたら……
お兄ちゃん、
なんて答えるかな……

おしまい



















































































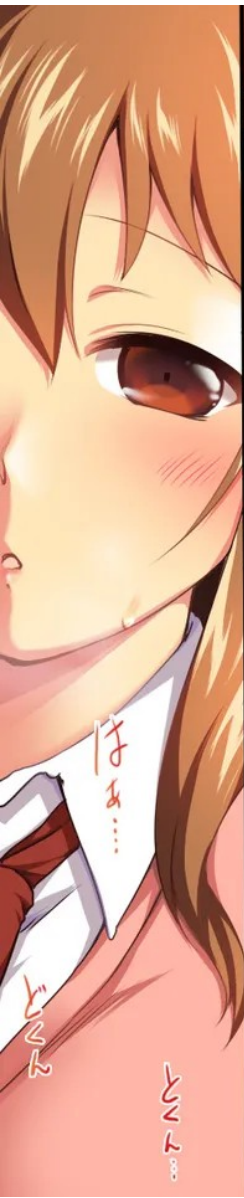






































はあ...

はあ...

くっくっ
くっくっ
にちや...

にちや...
クキクキ





















